

## 「前立腺がん」 PSA検診で早期発見を！

佐賀大学医学部附属病院 病院長 野口 満 先生  
佐賀大学医学部泌尿器科学講座 教授



### 前立腺と前立腺がん

前立腺肥大症や前立腺がんという言葉時々、耳にするのではないのでしょうか。前立腺は男性のみの臓器で骨盤の奥底、膀胱の直下に位置し、膀胱から尿を排出する通路である尿道を取り囲むように存在します。自然妊娠に必要な精液を最終的に作り上げる臓器で、子孫を残していくための重要な臓器です。

この前立腺は、男性ホルモンの影響で50歳を過ぎたころから、肥大やがんの発生を認めるようになります。

## 男性のがん患者数第1位

日本人男性のがんの中で胃がん、大腸がん、肺がん、肝臓がんなどを抜き、前立腺がんは患者数第1位です。佐賀県でも男性がん患者の中で最も多いのが前立腺がんです。

では、どうして前立腺がんが増えたのかですが、理由は3つ考えられます。1つ目は、前立腺がんや前立腺肥大症は若い年代では発症せず、壮年期以降で発症しますので、高齢社会が進むと増加します。2つ目は、生活習慣の変化で、肥満、高血圧、糖尿病、コレステロール・中性脂肪異常などから起こるメタボリック症候群（メタボ）の増加です。メタボは前立腺がんの発症危険因子です。そして3つ目が、PSA（前立腺特異抗原）という腫瘍マーカーにより、前立腺がんが発見しやすくなったことです。

（図1：表1）

## 早期治療で良好な経過

前立腺がんは、がんの中でも比較的小となしいタイプのがんです。早期で発見し適切な治療が行われると、前立腺がんで命を落とすことはほとんどありません。しかし、早期前立腺がんは特徴的な症状がありませんので、検診を受けていない方では発見が遅れます。進行した前立腺がんでは、リンパ節や骨に転移しやすく、骨転移による疼痛を契機に前立腺がんが診断されることも時々経験します。

## 佐賀県は前立腺がんの死亡率は全国トップレベル！

前立腺がんは、比較的小となしいタイプのがんにも関わらず、2020年の佐賀県での前立腺がんの死亡率は、全国1位と最悪な状況です。ここ数年、佐賀県の前立腺がんによる死亡率は全国トップ

表1

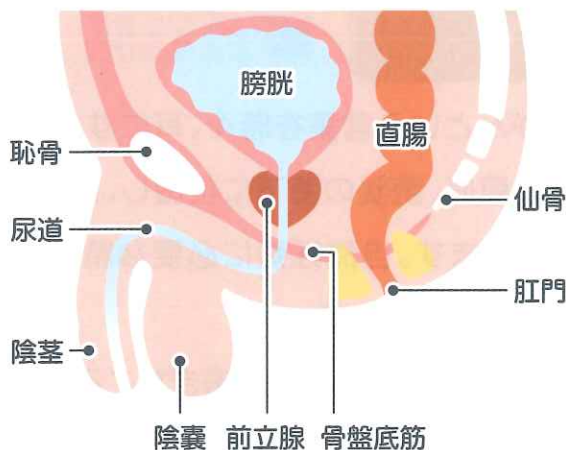
### 日本人男性の部位別罹患数

- |    |       |
|----|-------|
| 1位 | 前立腺がん |
| 2位 | 大腸がん  |
| 3位 | 肺がん   |
| 4位 | 胃がん   |

最新がん統計（国立がん研究センター）より引用

図1

### 男性骨盤内の様子



レベルです。この原因は次の2つです。  
1つは、佐賀県においては糖尿病疑いの方が県民の12.8%と全国ワースト1位、脂肪肝も県民の24.2%、腹囲は全国ワースト2位、喫煙率全国1位とメタボ大国であることです。メタボは前立腺がん発症だけでなく前立腺がんの治療効果も悪いことがわかっています。

もう1つの原因は、50歳以上の男性が対象の「PSA検診」の受診率が低いことです。このため、早期発見が遅れ、進行がんで受診されることが高い死亡率につながっています。(図2・図3)

## 「PSA検診」で早期発見を

佐賀県では、各市町の助成でPSA検診を毎年行っています。初期の前立腺がんでは、症状がありませんので検診で発見するしかありません。PSAは極めて有用な腫瘍マーカーです。症状がない場合は、PSA採血は医療機関での保険

診療は認められず、人間ドックで調べると高い料金を支払うことになります。一方、市町のPSA検診は格安でPSA検査が受けられ、異常値であれば佐賀県内の泌尿器科専門医で精密検査を受ける流れになっています。しかし、佐賀県の50歳以上の男性でこのPSA検診を受けている方は、約10%程度です。少なくとも60歳以上の方は、必ずPSA検診を毎年受けることを強く推奨いたします。職場の検診を受けているから大丈夫と思っている方も、その職場検診にPSA測定が入っているか確認し、入っていないければ市町のPSA検診を是非お受け下さい。PSA検診により前立腺がんの死亡率を20%低下させることが報告されています。

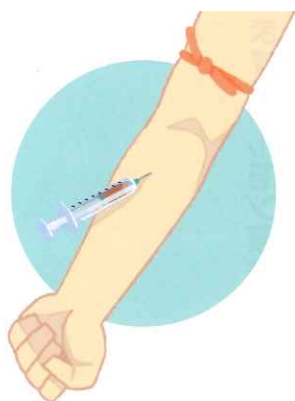
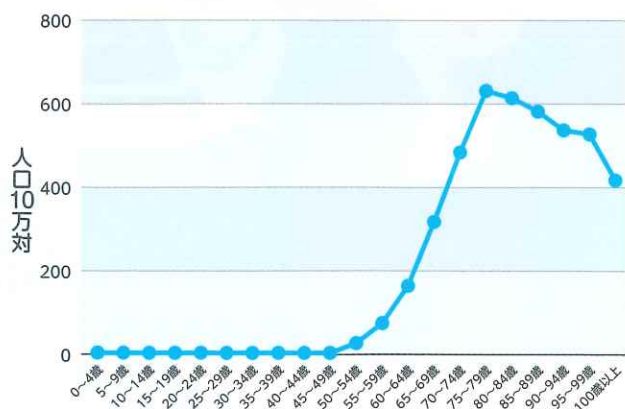


図3

### 前立腺がん年齢階級別罹患者数



最新がん統計(国立がん研究センター)より引用

図2

### 前立腺がん 年齢調整死亡率の推移



## 治療と予防

不幸にして前立腺がんになった場合、早期であればロボット支援下手術で根治的に前立腺摘出術、あるいは九州国際重粒子線がん治療センター(サガハイマツト)での重粒子線治療が勧められます。ただし、手術は75〜77歳までが限界でそれ以上の高齢では、原則手術は行わず男性ホルモンを遮断するホルモン療法というお薬での治療が行われます。進行した浸潤癌や転移がある場合もお薬で治療することになります。基本的にはホルモン療法が行われますが、年齢や患者さんの状態により、抗がん剤も追加する

こともあります。ホルモン療法では、体のほてり、男性性機能障害、骨粗鬆症、メタボ進行などの副作用対策もせねばなりません。

このようなことから、前立腺がんの発症予防もポイントです。適度の運動とカロリー控えめで高脂肪食や乳製品等を控えた食事を心がけ、肥満、メタボを改善するのが前立腺がん予防には重要です。禁煙は言うまでもありません。

このように生活習慣の是正による予防とPSA検診により、健康長寿で楽しく暮らしていただければと思います。

